

発展を目指す企業家のための経営指南役

No. 616

平成23年 5月30日(月曜日)

## 社 外 重 役

Selected Clients &amp; Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド  
 東京本社)東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル5F  
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439  
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F  
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

## 人 事

24歳以下モチベーション下がる  
 派遣など高く、正社員ほど低い

JTBモチベーションズ調査2010によると、24歳以下は「自分に合った仕事をしたい」、「個性を發揮したい」という意識が04年の調査時よりも低下した。「ゆとり世代」の入社の影響の可能性が考えられるという。しかし、見ようによっては、長引く景気低迷・賃金伸び悩み・海外進出・効率主義等で、日本企業の組織風土が疲弊し、「ゆとり世代」が行き場を失い埋没している構図ともとれるがいかがだろうか？

モチベーションの平均点は100点満点で69.7点。意外なことに、「派遣スタッフ・パート・アルバイトのやる気が正社員よりも高い」、「転職経験1回ありの人が高い」、「小売・流通業界の社員が最も高い」という結果となった。

派遣等は非正規の雇用形態であり、褒められる現象ではない。にもかかわらず、個性を發揮し、仕事への高い意欲を保つことができる大きな要因は「適職感」である。つまり、自分に合った仕事とは、仕事の与えられ方、意識の持ち方に大きく左右される。「小売・流通業界」の社員も、常に報酬や昇進昇級に対し不満があるものの、適職感がやる気を支えている。

今後の労働市場を考えると、女性と若い非管理職の層に対し「適職感」を植え、個性を發揮する「自己表現」、状況変化を読む「環境適応」などを涵養する人事体制を作ることが急務となる。経営者にとって正社員の意欲が低いのはショックだが、3・11大震災以後、タガを締め直すよい機会である。

## 税務会計

国の借金、年度内に1千兆円突破  
 国民1人あたりの借金は722万円に

2011年度中に国の借金が1千兆円の大台を突破する可能性が高くなった。財務省の発表によると、国債や借入金、政府短期証券を合わせた「国の借金」が今年3月末で924兆3,596億円に達し、過去最高を更新。最大規模となる44兆円強の新規国債発行で、前年度末比41兆4,361億円増えた。同省は、2011年度末には997兆円を上回るとしているが、震災復興へ国債増発が避けられそうになく、さらに厳しい財政運営を迫られそうだ。

同省がまとめた国の借金は、国債が758兆5,690億円、政府短期証券が110兆7,847億円、借入金が55兆58億円だった。財務省が1月に示した見通しでは、2010年度末時点での借金残高は943兆円に達するとしていたが、借換債(前倒し債)の発行額を補正後予算額の20兆円に対して17兆円に、36兆7,000億円を予定していた赤字国債の発行も34兆7,000億円にとどめたことなどから、これを下回り924兆3,596億円となった。ただし、今後、震災復興財源としての国債増発は避けられず、今年度末には1千兆円を超えそうな状況にある。

なお、この「国の借金」924兆3,596億円は、2010年度一般会計予算の歳出総額92兆2,992億円の約10倍、同年度税収見込み額37兆3,960億円の24.7倍である。年収500万円のサラリーマンが1億2,350万円の借金を抱えている勘定だ。また、わが国の今年4月1日時点での推計人口1億2,797万人(総務省統計、概算値)で割ると、国民1人あたりの借金は、昨年12月末時点からほぼ横ばいの約722万円となる。

## 今週のキーワード

## ゆとり世代

ゆとり世代の根拠には諸説あるが、通説では2002年度(高等学校は2003年度)学習指導要領による教育(ゆとり教育)を受けた世代のこと。学習指導要領改訂が学力低下につながると批判される。マスコミ説は1987年4月2日生まれ以降をゆとり第一世代と呼ぶ。1993年以降とする文部省説もある。広告業界では1987~1994年生まれあたりを指す場合がある。特徴は「他者視点に欠ける」、「チャレンジ精神が薄い」、「楽して成果を上げようとする」など評価は総じて辛い。